

第2回 福岡市立新病院に関する小児2次医療連絡協議会 議事要旨

■日 時	平成22年6月11日(金) 15時30分から	
■場 所	国家公務員共済組合連合会浜の町病院	
■出席委員	独立行政法人国立病院機構九州医療センター院長 国家公務員共済組合連合会浜の町病院院長 地方独立行政法人福岡市立病院機構福岡市立こども病院・感染症センター院長	村中委員 安井委員 福重委員

- 会議については非公開とし、会議資料及び議事要旨については、市ホームページで公表する(公開すべきでない部分を除く)ことを確認した。

議題1 新病院の概要

- 新病院の概要について事務局より説明を行った。

議題2 小児2次医療連絡協議会の今後の進め方について

- 小児医療に関するネットワークについて検討を行う場合は、小児医療の現場の先生方を中心に、本協議会とは別の会議体として、別途設置することを確認した。
- 本協議会については、規約にも掲げている本協議会の目的である、「現こども病院移転後の本市西部地区の小児2次医療体制の確保を図るため、各病院間の連携・協力のあり方等を検討する」ということを再確認し、本協議会としては存続し、引き続き協議を行っていくことを確認した。

議題3 その他

- 本協議会の規約第4条の組織について一部変更することを了承した。なお、地域医療や急患センターとの関係から、本協議会の組織に福岡市医師会の参画を得ることが望ましいとし、次回開催までに調整することとした。
- 座長について互選により、安井委員を選出した。

<会議で出た主な意見>

- ・ こども病院は市立であるが世界に通用するものである。
- ・ こども病院の役割からすると、地域の病院として足繁く通院してというより、高度な小児医療をしている。役割が違う。
- ・ こども病院は、昨年4月25日以降、新型インフルエンザの影響で20数床ベッドを閉じて運営していた期間があって、一種の業務縮小状態にあった。そのときの状況や現状から、NICU・PICUは足りないが、小児一般病床は不足しているかという決してそうではないと思っている。